

前期を振り返って

豊田美紀

前期を振り返って

豊田美紀

2019年になりました。新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。2019年の幕開けは太原で迎えました。年末年始は前期クラスの期末試験が目前という時期でした。中国では元旦のみが祝日となります。元旦と併せて中国政府が定めたお休みが3日間ありました。ご存知の方も多いかと思いますが、中国のお正月は春節です。2019年の春節は2月5日ということです。

さて、早いもので1月9日に前期クラスを終えました。山西大学では6週間の冬休みがあります。中国人の学生はお休み期間になると故郷に帰る人が殆どです。留学生は一時帰国する者、中国に残って休暇を満喫する者それぞれのスタンスで過ごします。私は日本に帰国しましたが、私のルームメートは太原に残っています。

1月は前期の振り返りについてお話をさせていただきます。

昨年8月31日、日本を発ち上海経由で太原に入りました。今思うと、新天地での暮らしに対しての期待よりも不安の方が大きかったです。振り返ってみると、前期は太原での暮らしのペースを作って慣れることに精一杯でした。学校の勉強面でも中級クラスに属しているので内容も難しく、予習→クラス→復習・宿題というサイクルの中で、自分なりの勉強方法を築くことで精一杯で



した。また、寮からバス通学をしているのですが、最初は片道1時間のバス通学でさえもおっかなびっくりでした。

一月また一月と時間を経るごとに生活と勉強のリズムを確立していったように思います。季節も夏から秋そして冬へと移り変わりました。太原は秋は短く冬の到来が早いです。冬が長く続きます。1月は朝の通学時間にやっと日の出を迎えます。気温はマイナス15度前後の中で通学していた時期もありました。でも、人間という生き物は想定外に適応能力があるものです。気づいたら極寒にも慣れるのです。そして、その中で自ずと心も鍛錬されていくものであると感じています。私の学び舎である山西大学国際教育交流学院の写真を載せておきます。



私は北京に1年留学した経験がありますが、今回の山西大学での留学生活は過去のものとは大きく異なりました。戸惑うことも心が折れる場面も多々ありました。その様な時に、大きな励みとなったのはルームメートの存在でした。生活面でも勉強面でも常にお互いに切磋琢磨しながら過ごしてきました。ルームメートは努力家で朗らかで明るくいつもポジティブです。寮でサバイバルさながらの生活を乗り切る時、クラスの勉強が難しくきつい時、いつもお互いに「最強のチームワーク！」を合言葉に励ましあって半年間を乗り切っ

てきました。お陰で、気づいたらお互いに「家族」と呼べる程の絆が出来上がっていました。この場を借りてルームメートには感謝の意を表したいです。ありがとう！

勉強面も温かいクラスメートに恵まれました。韓国やアメリカ、イタリア、インドネシア、ロシア、コスタリカなど様々な国籍のメンバーです。何度かランチにも出掛けました。友情を深めるには中国の火鍋は最高です。勉強から離れてクラスメートと他愛もない話をする時間は格別です。ルームメートもクラスメートも共通言語は中国語と英語ですが、心は通じるものです。このような時間は異文化交流の醍醐味を実感する瞬間でもあります。皆にありがとう！です。

クラスの先生もそれぞれの個性のもとで教授して下さいます。クラスは精読課、閲読課、口語課、聴力課の4科目です。精読課が一番難しく予習と宿題には苦勞しました。でも、熱心な先生なので、何とかしがみついても頑張りたいという一心で半年間やってきました。

個人的には山西大学は自由な校風があると感じています。クラスの生かし方も留学生活の満喫の仕方も自分次第でいかようにもアレンジできると感じています。個々の留学の目的が何であるか？ということと大きく関連していると感じます。

私は社会人なので仕事の代わりに勉強をしていると考えております。再び学生に戻っている「今」は、私には掛け替えのない時間で本当に有難いものです。語学を学ぶことの他にも中国の歴史や文化も学ぶことが出来ていると体感しています。恵まれたチャンスに感謝しています。前期クラスも期末試験までの道程を無遅刻・無欠席で自分なりに突っ走って来ました。

今年は元旦もお正月気分にも浸ることもできず、ずっと期末試験の準備に明け暮れていました。山西大学では期中試験はなく期末試験のみです。試験準備期間として年末年始を含め1週間時間がありました。この間、私は気持ちがスッキリすることは全くありませんでした。試験のことを考えてはプレッシャーの中で過ごしていました。でも、大晦日から元旦に変わった時刻はルームメートと新年を祝福しました。小さな幸せを見つけることが太原での暮らしを乗り切る秘訣だと実感しています。試験は2日間で4科目行われます。やはり試験となると緊張するものです。自己との対峙、そのようなことを思いながら1週間勉強していました。そして悔いなく前期を終えることが出来たと思っています。

最後に、寮のある山西大学商務学院の1月の風景を載せておきます。新年の幕開けに合わせて提灯の飾りでメインストリートが華やかです。前期、様々な場面で経験したこと・得たものを糧として後期クラスは更に飛躍できるよう、次のステップに進むべく再び最大限の努力で邁進したいと思います。

